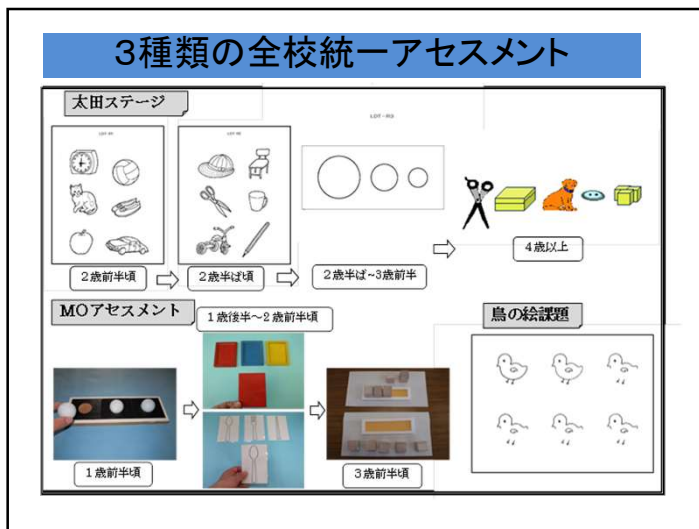


本校では、個々の特性に基づく指導、根拠ある指導の観点から、全児童・生徒対象に発達段階アセスメントを行い、生徒指導、授業および個別指導計画等にかかしています。

今年度は、実施期間を4月24日(月)～5月31日(水)とし、全校で実施予定です。

実施するアセスメントは、以下の通りです。

- ① 太田ステージ(言語性発達)
- ② MOアセスメント(動作性発達)
- ③ 鳥の絵課題(微細運動発達)



なぜ アセスメントを取るのか？

●多面的に児童生徒の実態把握を行い、個に合わせた指導を充実させる。

↓

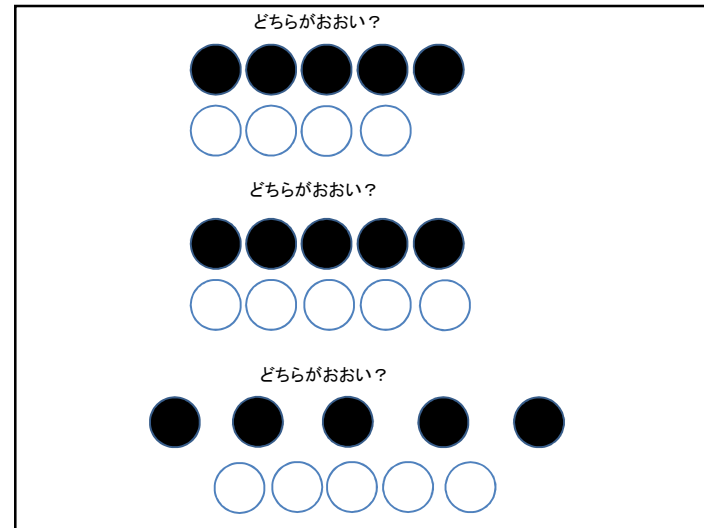
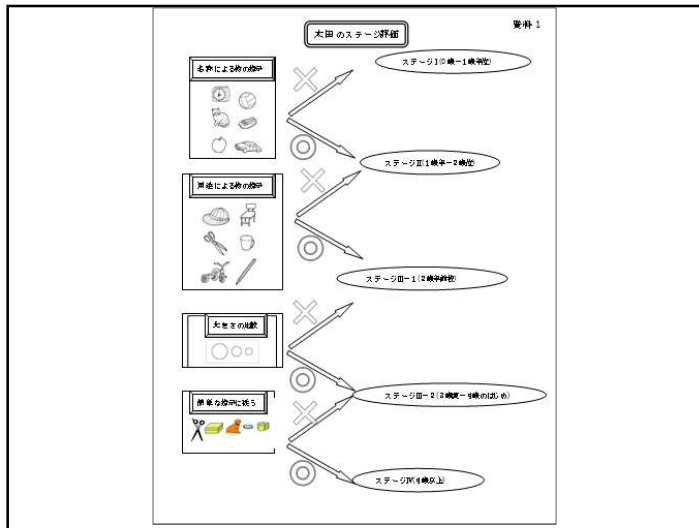
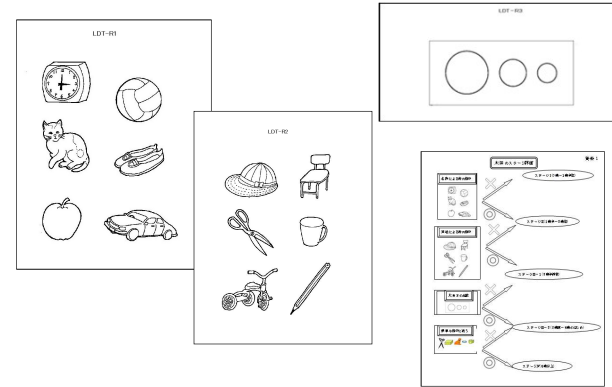
生活年齢だけでなく、発達年齢や障害特性、その子の興味関心等を考慮し、活動や教材教具を考えることで、児童生徒の可能性を最大限に伸ばす。

なぜ アセスメントを取るのか？

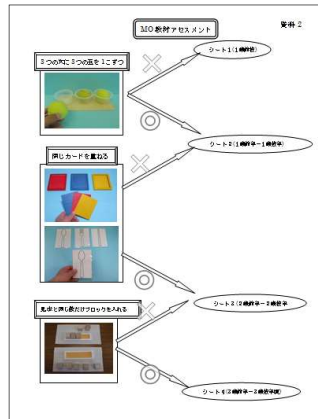
太田Stage評価

- ・教員が実施できる
→指導につなげることができる
- ・簡便に実施でき、繰り返し使用できる。
→発達の様子を短いステップで捉えることができる。

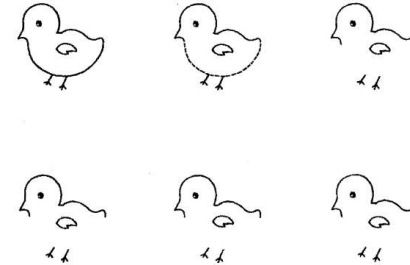
①太田ステージ評価 言語性(資料1参照)



②MOアセスメント評価 動作性(資料2参照)



③鳥の絵課題 微細運動(資料3参照)



上段左端(見本)は大人と一緒に腹をなぞる。上段中の絵は必要があれば手伝って腹の部分なぞる。上段右端から下段3つは一切手を貸さずに自分で描かせる。言葉かけは自由に行う。

資料2 TOBのタイプ分け

判定	不通過			通過		
タイプ	①	②	③	④	⑤	⑥
描画						
基準	全線を塗り置き あたりを擦く 隙を引くがつかない	部分に注目	なぞるのみ	足の距離が2mm以上あく 頸部の幅が幅点や後点から ずれる、切がぬれる	足を囲む	安定した描写
認知面の説明	偶然と見ている (形の認識は弱)	突き出た部分や自 立つ部分にのみ注 意が向く	線に沿って塗接す る 視覚的なイメージ がない	見えない線のイメージがあ る 視線の集中とそれに応じる 手の運動が不安定	空間認識の把握困難	欠けた情報のイメージ に沿った視線の集 中と移動、滑らかな 手の運動

教員対象のアセスメント研修会

新転任者アセスメント説明会
4月10日(水)

外部専門員アセスメント研修会 6月7日(水)
「太田ステージについて」
講師:富岡康一

外部専門員アセスメント研修会 7月21日(金)
「ステージによってねらいが決まる『日常生活の指導』」
講師:富岡康一

保護者対象のアセスメント研修会(配信)

外部専門員アセスメント研修会 8月4日(金)
「家庭でできる日常生活の指導」
講師:富岡康一